

I 調査の概要

1. 調査の目的

苦小牧という地域の特性を生かした魅力あるまちづくりを推進する第一歩として、まず地域住民の苦小牧の既存景観に対する評価、イメージ、要望を把握しなければならない。また、新しい『都市景観』という考え方そのものに関して、市民に関心をもっていただき、認識していただく必要がある。以上のことをふまえ、市民に『苦小牧の景観に対するアンケート調査』を実施した。

2. 調査の方法

1) 調査対象者

サンプルは苦小牧市民を年齢（対象15歳以上、6段階に区分）、性別で12段階に分け、さらに地域を町内会ごと85に区分し、住民基本台帳から無作為に抽出した。

対象サンプル数 1,200人

2) 調査方法

調査方法はメール・メール方式とし、サンプル1,200人に郵送で調査票を配布し、郵送にて回収した。

3) 調査期間

平成7年9月1日に郵送し、10月8日を期限に回収した。

プル数及び回収状況

1, 200人に調査票を郵送し、最終的に534人の回答を得た。

回収率44.5% (534人/1,200人)

《苦小牧市の人口との比較》

| 苦小牧市の人口 | サンプル数 | 抽出率 | 回収数 | 回収率 |
|----------|--------|-------|------|-------|
| 168,753人 | 1,200人 | 0.71% | 534人 | 44.5% |

《母集団と地区別有効回答数》

| 項目 地区名 | 母集団 | 構成率 | 有効回答数 | 構成率 |
|---------------|----------|--------|-------|--------|
| エリア1 西部地区 | 33,354人 | 19.8% | 86人 | 16.1% |
| エリア2 北西部地区 | 40,008人 | 23.7% | 116人 | 21.7% |
| エリア3 南西部地区 | 26,879人 | 15.9% | 85人 | 15.9% |
| エリア4 中心部地区 | 24,655人 | 14.6% | 92人 | 17.2% |
| エリア5 北東部地区 | 30,044人 | 17.8% | 90人 | 16.9% |
| エリア6 東部地区 | 13,813人 | 8.2% | 30人 | 5.6% |
| 無回答 | | | 35人 | 6.6% |
| 合計 | 168,753人 | 100.0% | 534人 | 100.0% |

※ 母集団は平成6年12月末の住民基本台帳による。

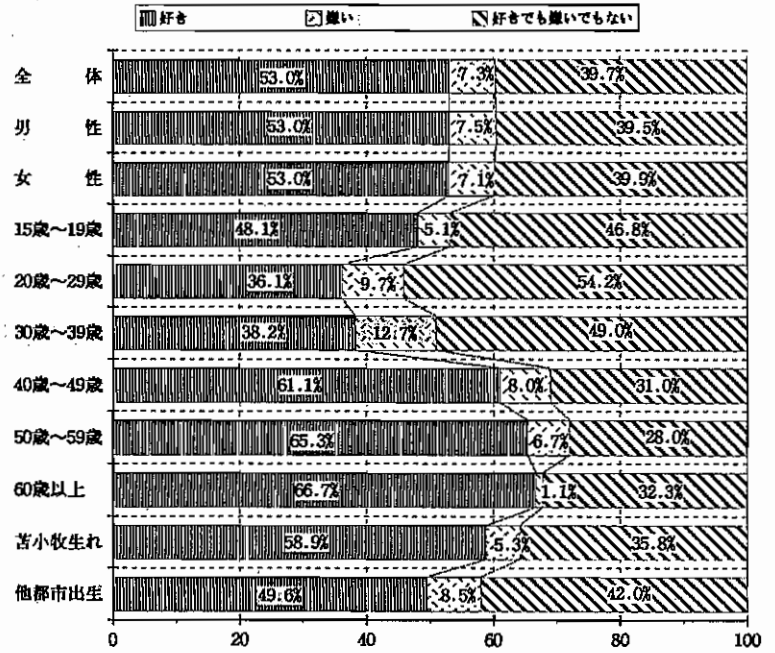
Ⅲ 調查結果

1. 苦小牧に対する好悪

過半数が苦小牧を好きだと答え、性別では差がない。

年齢的には、20歳代と30歳代が好きと答えた人が少ないが、40歳以上は60%好きと答えている。また嫌いと答えた比率が一番高いのは30歳代の12.7%であった。

やはり苦小牧生まれの人が他都市出生のひとより好きと答えた人の比率が高い。



2. 苦小牧のイメージ

A まちのイメージカラー

苦小牧のイメージカラーとして一番多かったのがグレーの30%、次に水色の16%、緑の13%であった。寒色系の青系とノンカラーの白、黒、グレーを合わせると60%を占める。

性別での差異はほとんどないが、年齢別で20歳代と30歳代で灰色と答えた比率が高いのが目を引く。また年齢が上がるにしたがって緑と答えるひとの比率が高くなっている。

その他の回答は7つあり以下の通りである。

肌色

灰色のような青

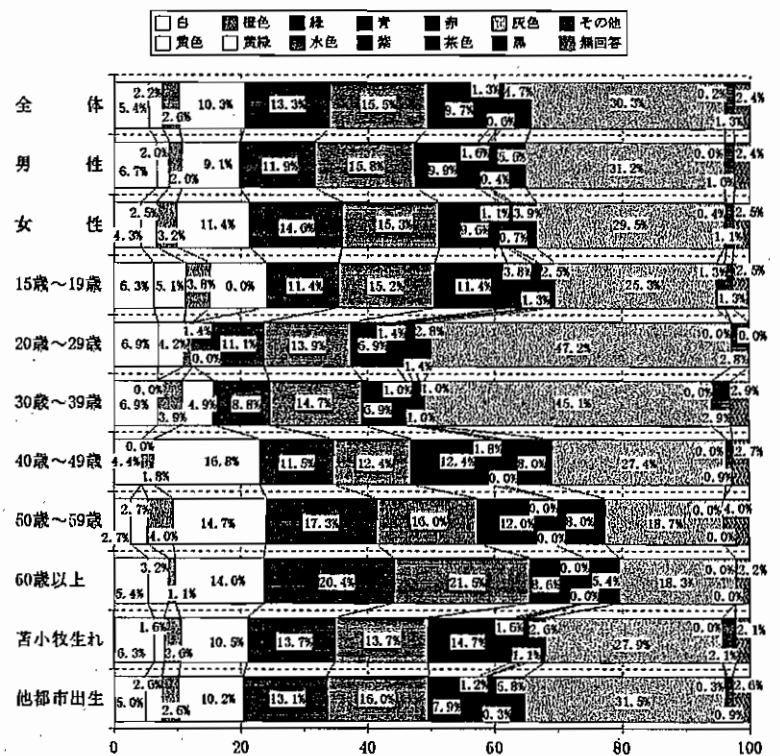
虹色

ブルーグレー

ベージュ

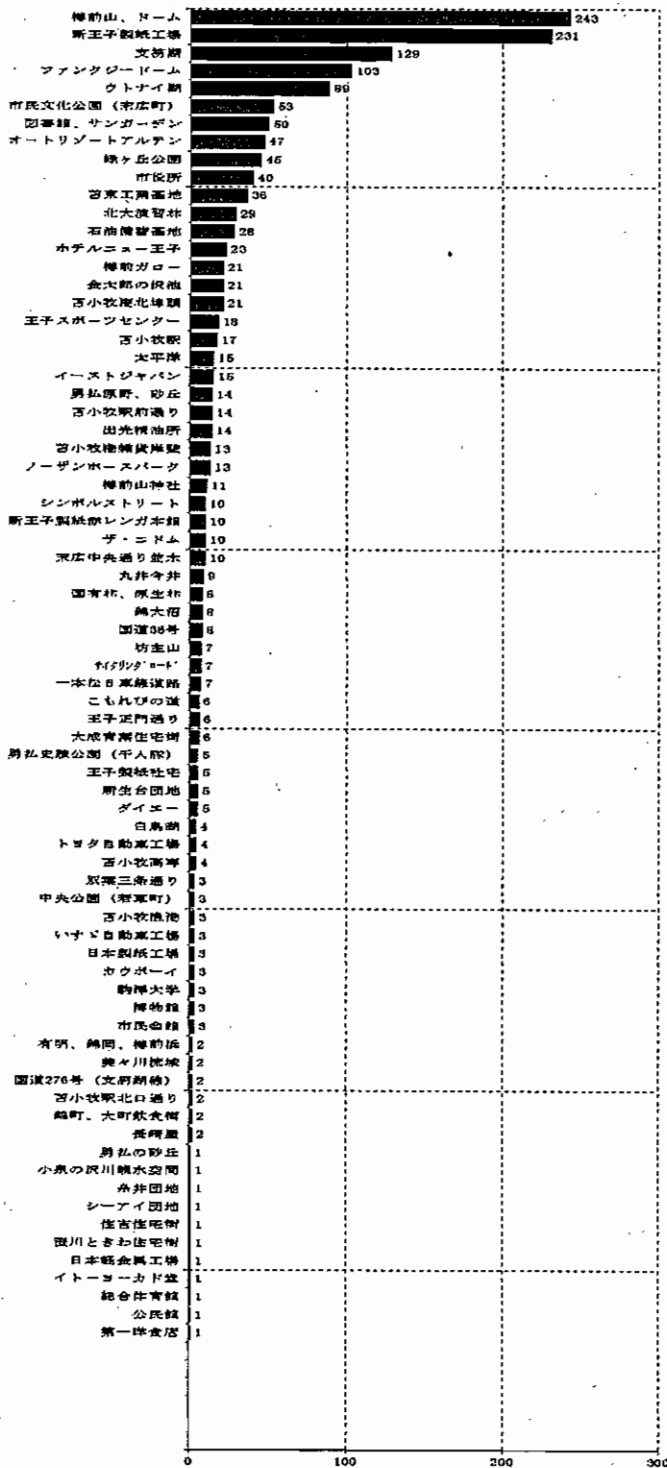
ワインカラー

白と朱(ツートン) 各1人



4. 苫小牧の景観

A 景観を代表する場所または建物



代表する景観をの選択項目を場所と建築に分け、上位各5項目を列記する。

・場所

- 1, 樽前山、ドーム 243人(45.5%)
- 2, 支笏湖 129人(24.2%)
- 3, ウトナイ湖 89人(16.7%)
- 4, 市民文化公園 54人(10.1%)
- 5, オートリゾートアルテン 47人(8.8%)

・建物

- 1, 新王子製紙工場 233人(43.6%)
- 2, ファンタジードーム 103人(19.3%)
- 3, 図書館、サンガーデン 50人(9.4%)
- 4, 市役所 41人(7.7%)
- 5, 石油備蓄基地 36人(6.7%)

※ 数字にはその他回答の重複分を含む
()内全回答数に占める割合

その他の回答(24件)は以下の通りである。

・建物

- 8カ所
(最多回答パチンコ店、フェリーターミナル 各2件)

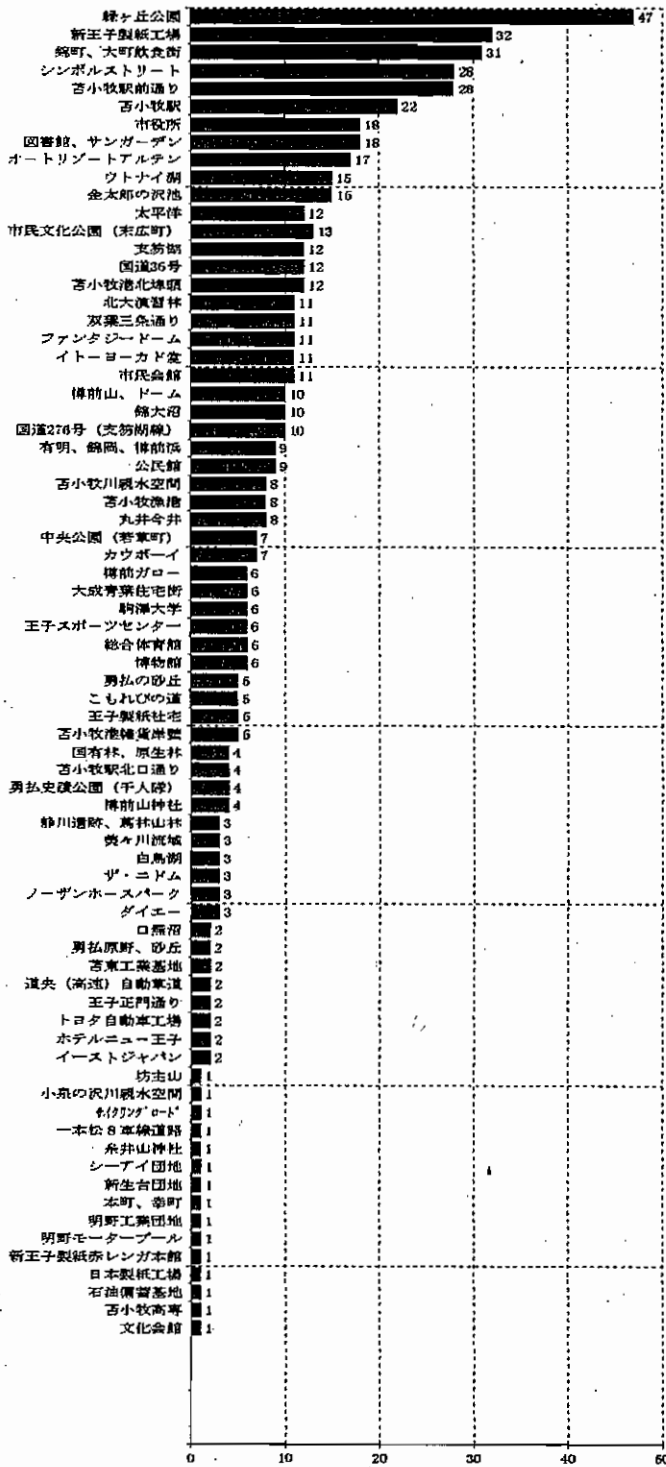
・場所

- 2カ所
(坊主山、西港 各1人)
- ・夜景 2カ所
(市役所からとイーストジャパンからの 夜景各1人)

・選択項目ごとの重複回答

- 7カ所
・その他 2件
・なし 3件

D 景観修正提案、意見



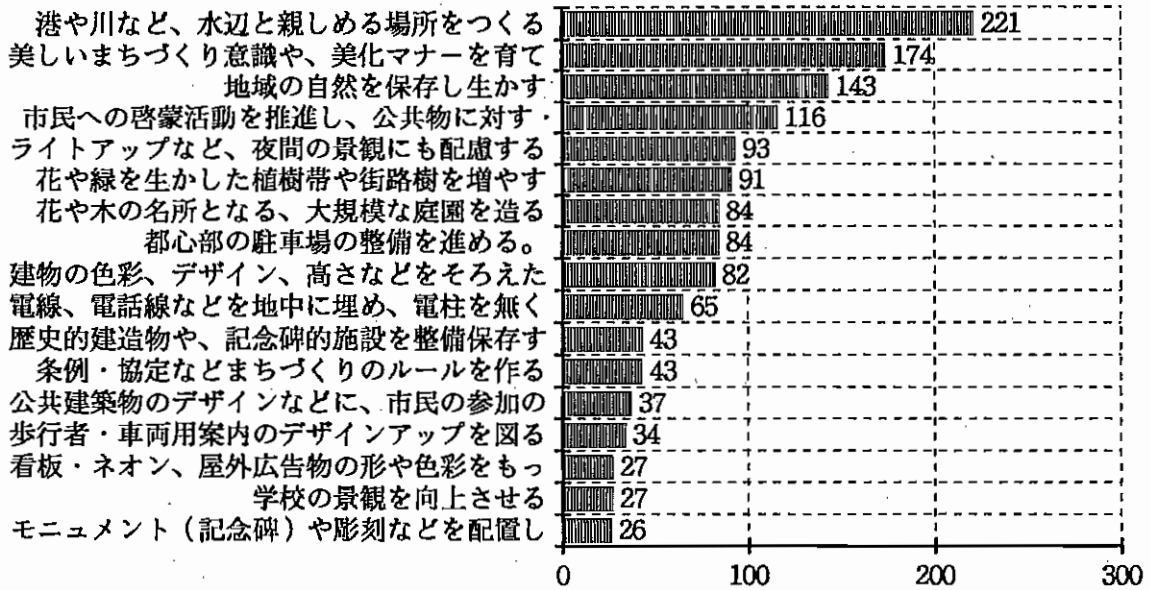
具体的景観修正カ所として提案、意見があった件数を表にしたものが左図である。上位5カ所についての意見を集約する。

1. 緑ヶ丘公園 意見 47件
 - ・展望台の改修 ^{清掃} 15件
 - ・施設の充実 9件
 - ・植樹等緑化整備 7件
 - ・遊園地、子供の遊び場化 7件
 - ・その他 5件
2. 新王子製紙工場 意見 32件
 - ・場所移転 14件
 - ・施設を明るく改善して欲しい 9件
 - ・その他 6件
 - ・具体的回答なし 3件
3. 錦町、大町飲食店街 意見 31件
 - ・街を明るく賑やかにする 7件
 - ・トピアの有効活用 4件
 - ・道路の整備 3件
 - ・駐車場の整備 3件
 - ・その他 12件
 - ・具体的回答なし 2件
4. シンボルストリート 意見 28件
 - ・施設の充実 4件
 - ・既存施設の工夫、改善 3件
 - ・外観、色の統一 3件
 - ・清掃が必要 3件
 - ・駐車場の整備 2件
 - ・その他 12件
 - ・具体的回答なし 1件
4. 苫小牧駅前通り 28件
 - ・施設の充実 5件
 - ・既存施設の工夫、改善 10件
 - ・公園の整備 4件
 - ・その他 6件
 - ・具体的回答なし 3件

6. 良好な景観を形成するために

どうしたらいいか?

苫小牧の街並みに関する具体的な選択改善提案をグラフ化した。(選択項目を下部に全文掲載)



《設問選択項目全文》

- ・港や川など、水辺と親しめる場所をつくる。
- ・美しいまちづくり意識や、美化マナーを育てるため、子供達に対する質の高い環境教育を推進する。
- ・地域の自然を保存し生かす。
- ・市民への啓蒙活動を推進し、公共物に対するモラルの向上を図る。
- ・ライトアップなど、夜間の景観にも配慮する。
- ・花や緑を生かした植樹帯や街路樹を増やす。
- ・花や木の名所となる、大規模な庭園を造る。
- ・都心部の駐車場の整備を進める。。
- ・建物の色彩、デザイン、高さなどをそろえたり、周囲の景観と調和させる。
- ・電線、電話線などを地中に埋め、電柱を無くする。
- ・歴史的建造物や、記念碑的施設を整備保存する。
- ・条例・協定などまちづくりのルールを作る。
- ・公共建築物のデザインなどに、市民の参加の機会を増やす。
- ・歩行者・車両用案内のデザインアップを図る。
- ・看板・ネオン、屋外広告物の形や色彩をもっと規制する。
- ・学校の景観を向上させる。
- ・モニュメント(記念碑)や彫刻などを配置し、うるおいのある街並みにする。

その他の景観に関する具体的な提案は64件あった。提案内容は多岐にわたっており、以下全文を掲載する。

カルチャー・ストリート事業概要

苫 小 牧 市

カルチャーストリート事業概要

H7~H9

カルチャーストリート事業は、苫小牧市の「シンボルストリート整備事業」計画の一環で、JR苫小牧駅前広場を起点として国道36号までの市道駅前本通線の800mを「シンボルストリート」、国道36号から市民文化公園までの市道汐見大通線と旭中央通線を合わせた約1,040mを「カルチャーストリート」として二つのゾーンに分けて整備し、ウィンドーショッピングや散策などが楽しめる快適な歩道空間をつくり、中心商店街の活性化と市民文化の向上を図ることを目的として計画された道路整備事業です。

【整備概要】

汐見大通線： 延長460m、車道部11mから9mに、歩道を4.5mから5.5mに変更し、電線類の地中化、デザイン照明灯、歩道のカラーブロック舗装、街路樹の配置等、通りのグレードアップを図っております。

通りの起点部にブロンズ像（風のエチュード）を配置し、カルチャーストリートらしさの演出を行っております。

旭中央通線： 延長580m、車道部9m×2から9m（一部の区間は10m）に、歩道は緑道式に配置し各所に休憩所を設け、四阿をはじめとしてパーゴラ、シェルター等と共にベンチを設けております。

また、魅力的で快適な歩道空間の創設を図るためデザイン化された車止めや車道照明灯を配置し、歩道部には専用照明灯で歩行空間の快適性と安全性を高める工夫を行っております。

さらに、歩行空間を包み込む緑地帯は、既存樹を生かすと共に新たな植栽を行い緑のボリュームアップを図っております。

位置図 S=1:5,000

JR吉永牧駅

道々古小牧停車場線

国道 36 号

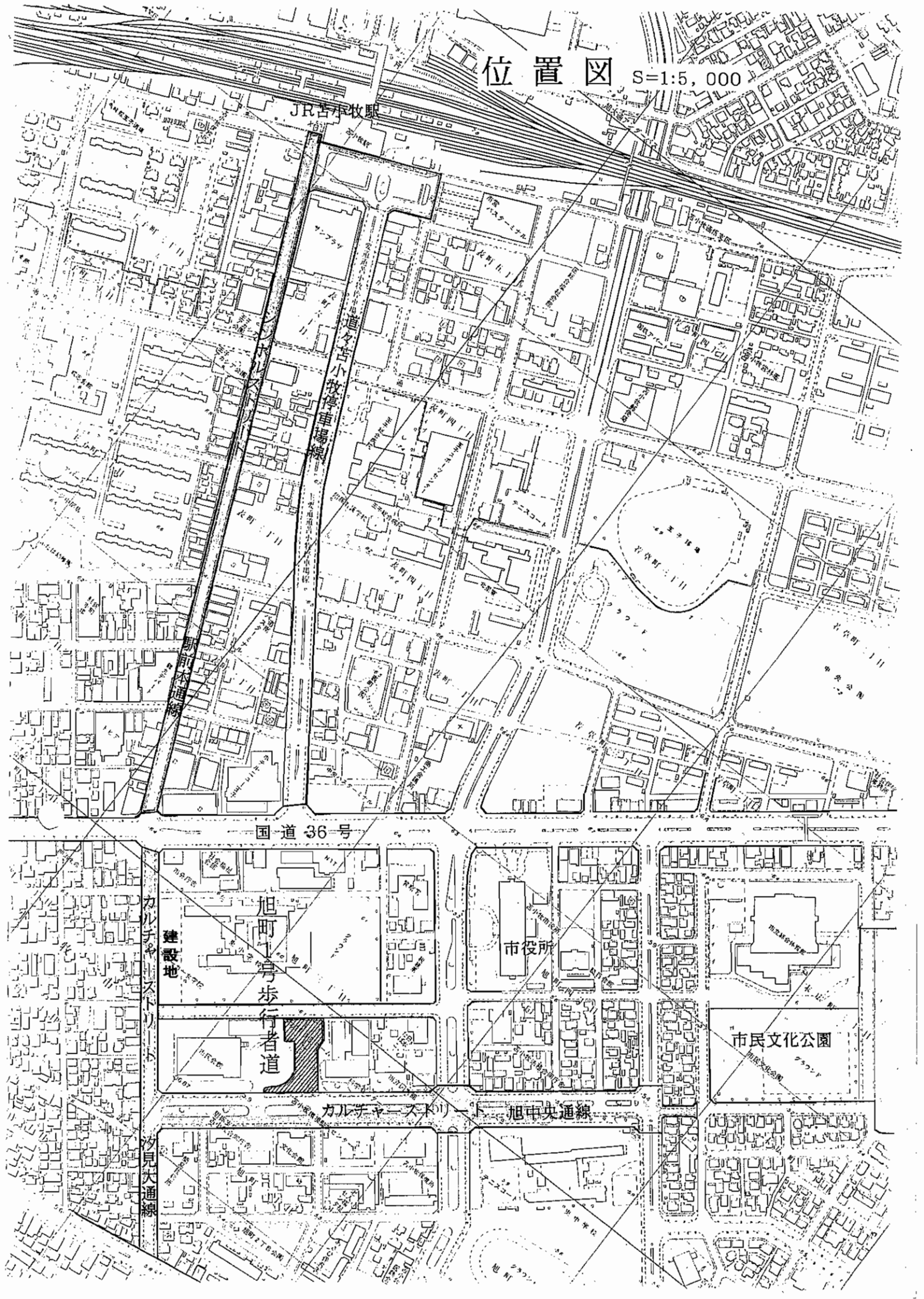
旭町
歩行者道

市役所

市民文化公園

カルチャーストリート 旭中央通線

カノ子ノストリート
旭見大通線



“旭町1号歩行者道”

旭町1号歩行者道は、苫小牧市のシンボルストリート事業の一部である旭中央通線（カルチャー・ストリート）に接続する歩行者専用道路で、沿道には市民会館、文化会館、科学センター、勤労青少年ホーム、小学校等があり多くの市民が利用するところです。また、近接する保育所や老人福祉センターからの散歩場所としても最適地です。

当該歩行者道は、市民会館などの前庭緑地として位置付けられ、市の開拓起源を象徴する記念碑や噴水池等が配置されており多くの市民に親しまれてきました。しかし噴水池を始め各施設の老朽化が著しく、再整備の必要性に迫られていました。本市では平成10年が市制施行50周年に当たり、これを契機に広場部分の有効活用を図るべく施設を再配置し、歩行者専用道路として整備を行う事としました。

市では、平成9年に歩道舗装、噴水施設、植栽等、平成10年には照明施設と休憩施設の整備を行い供用開始しました。さらに、当該歩行者道整備計画のうち緑地部分の植栽計画が、平成9年度『第8回緑のデザイン賞』において建設大臣賞を受賞し、その計画実現のため同年度に緑化工事を行いました。

【整備概要】

延長 84.30m

道路幅員 23.00～46.00m

面積 2,570㎡

種別 歩行者専用道路

施設概要 歩道部(平均幅員3.0m)・広場部：インターロッキングブロック舗装

噴水池(約160㎡)：遊水部(水深0～25cm)、水中照明12灯

フットライト照明10基、自然石オブジェ2個、

キャンドルノズル6本、ジェットノズル70本

照明施設：歩道照明灯5基、歩道庭園灯タイプ照明灯7基、投光照明2基

休養施設：シェルター1基、ベンチ5基

車止：ステンレスパイプ製3基、自然石製4基

植栽：既存樹を含め高木約300本、低木及び花木約6,500株

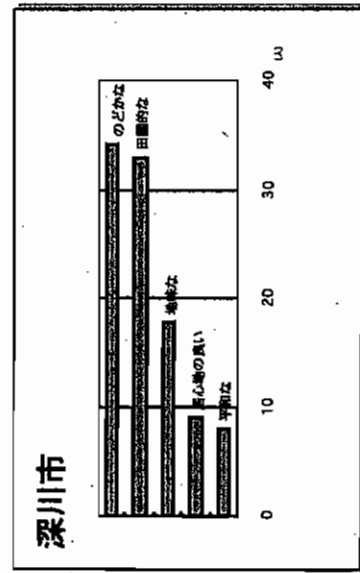
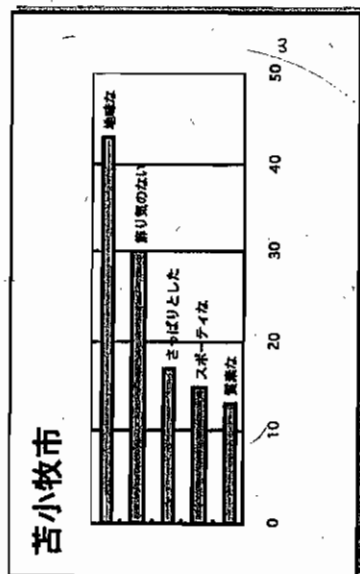
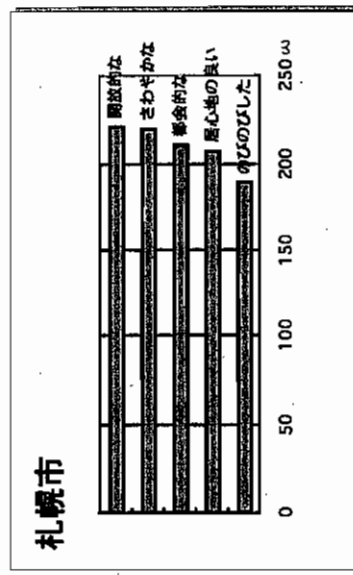
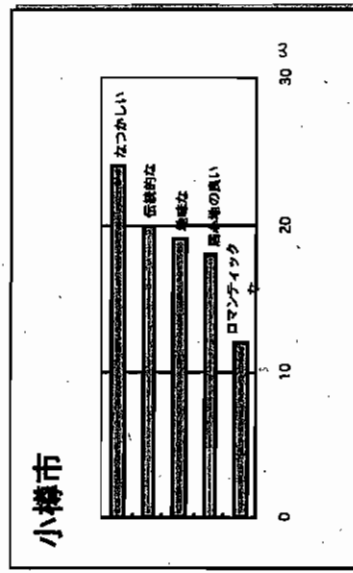
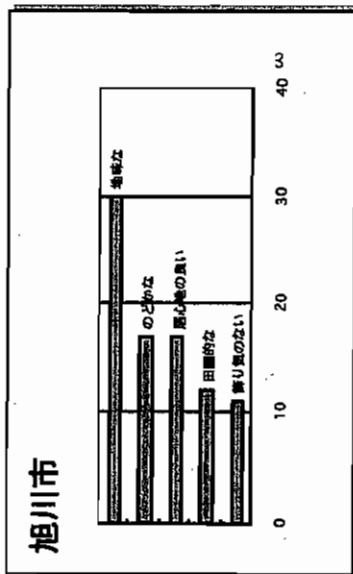
色彩意識調査 各都市の比較

(c) 2004 amica All Right Reserved.

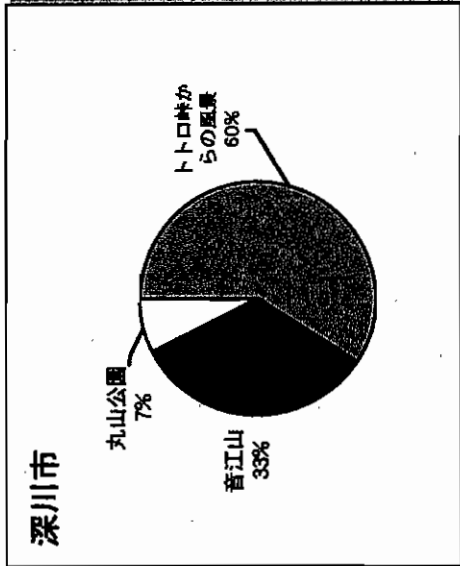
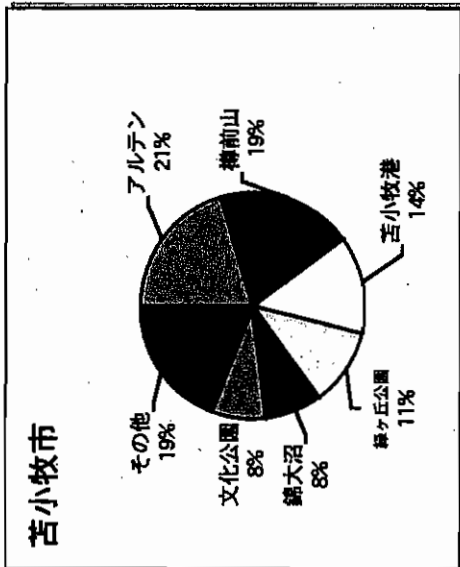
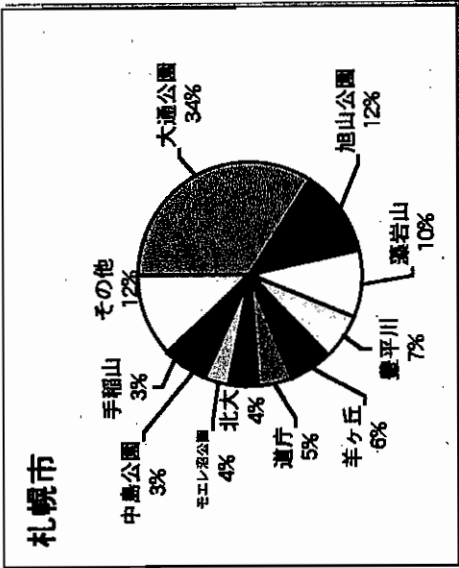
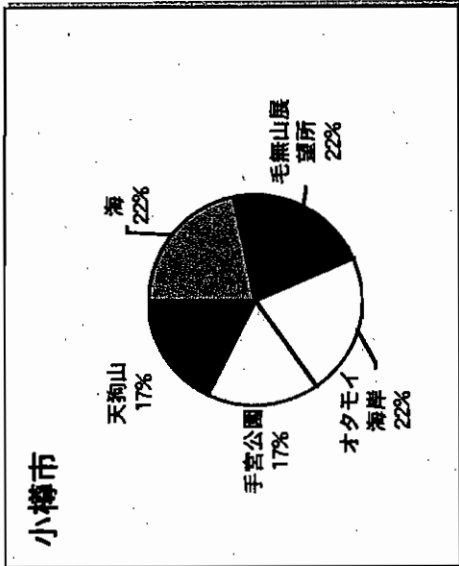
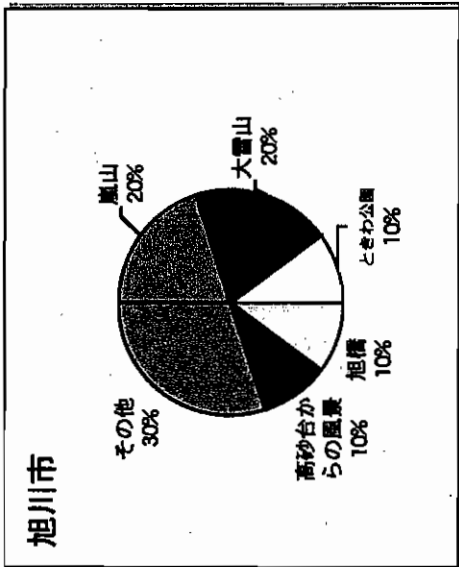
アンケート1. 札幌市のイメージを下記のイメージの中から選んで下さい。

上品な/飾り気のない/堅実な/なつかしい/豪華な/ロマンティックな/素直な/さっぱりした/可憐な/かわいい/美しい/男性的な/モダンな/清潔な/純粹な
 スポーティな/進歩的な/女性的な/居心地の良い/元氣な/情熱的な/開放的な/装飾的な/伝統的な/都会的な/若々しい/のどかな/地味な/活動的な/質素な
 さわやかな/クリアな/風格のある/刺激的な/真面目な/神聖な/平和な/ほがらかな/田園的な/のびのびした革新的な/なじみやすい/力強い

札幌市

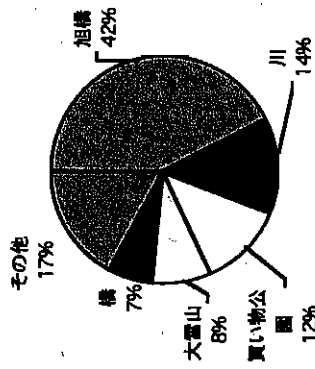


アンケート 2. 市内で好きな風景もしくは場所はどこですか？

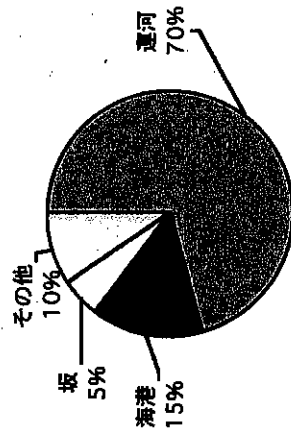


アンケート 3. 市のシンボルは何だと思いますか？

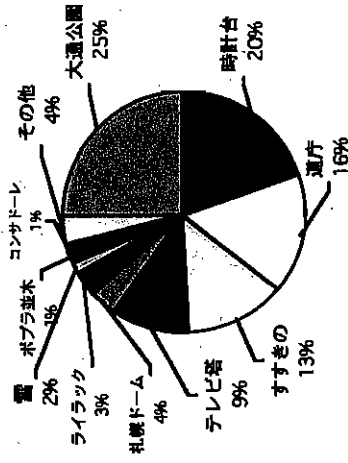
旭川市



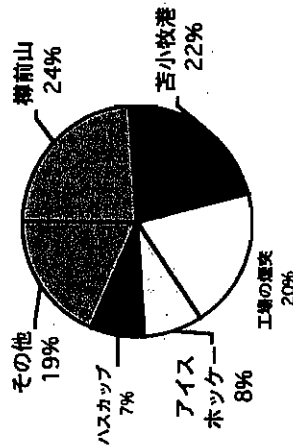
小樽市



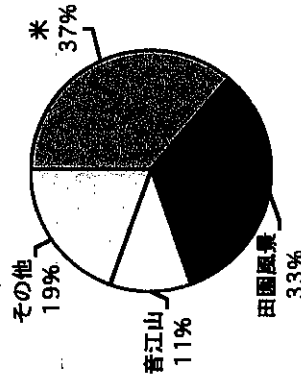
札幌市



苫小牧市



深川市

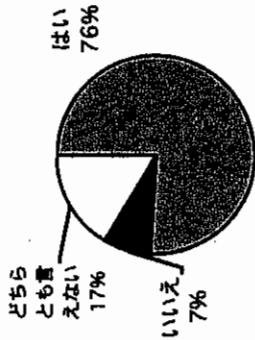


アンケート4. 市民として市をより良くするために色彩は重要だと思いますか？

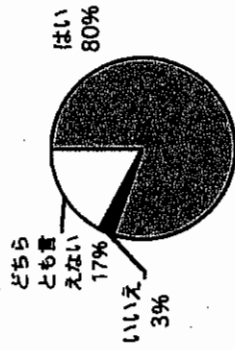
旭川市



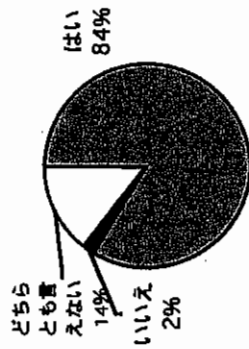
小樽市



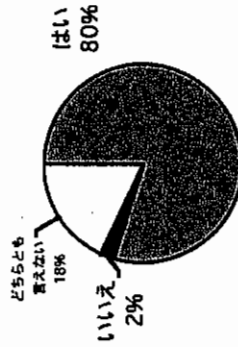
札幌市



苫小牧市

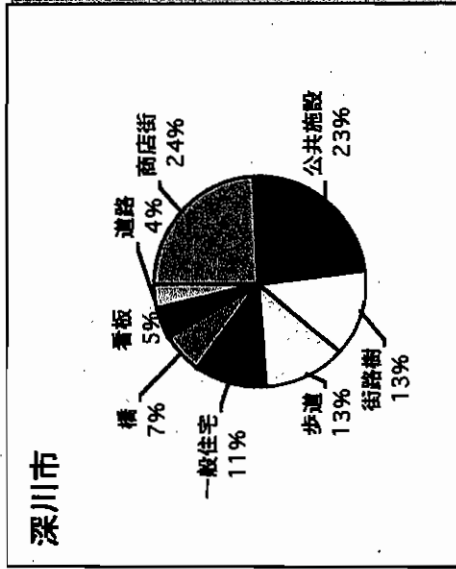
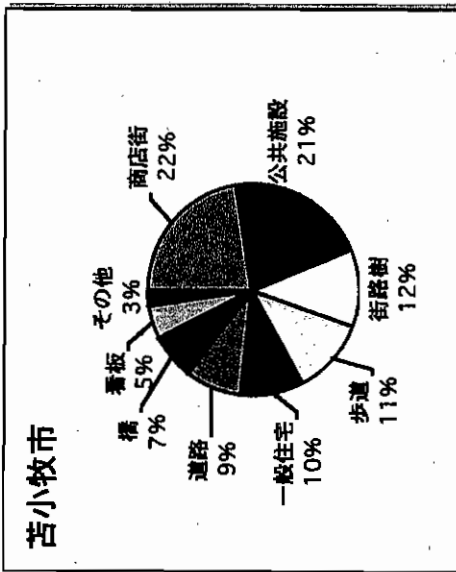
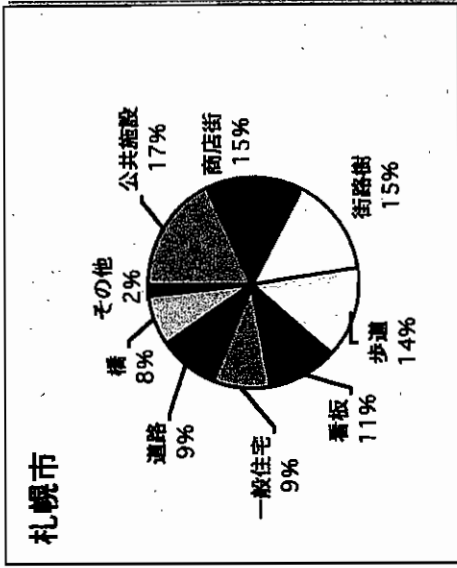
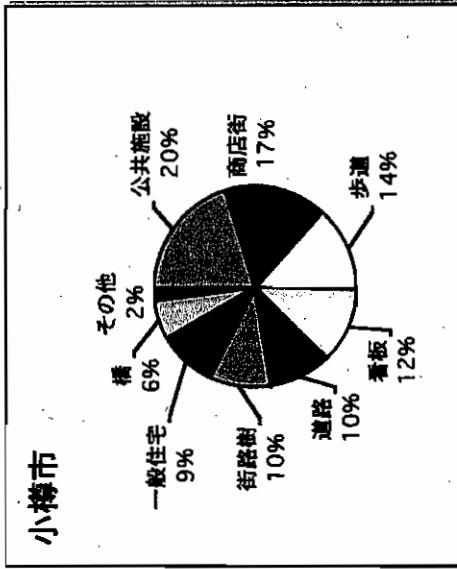
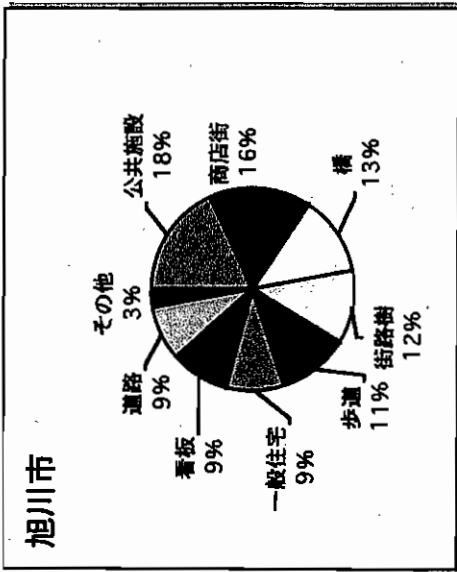


深川市



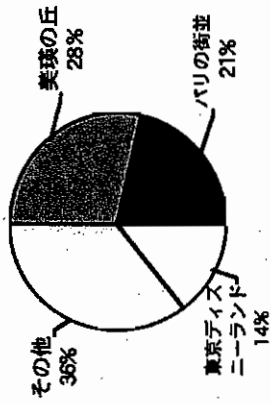
アンケート5. アンケート4で「はい」と答えた方に質問です。具体的にどのような所に色彩の重要性を感じますか？下記からお選び下さい。

商店街/公共施設/一般住宅/道路/歩道/街路樹/看板/橋/その他

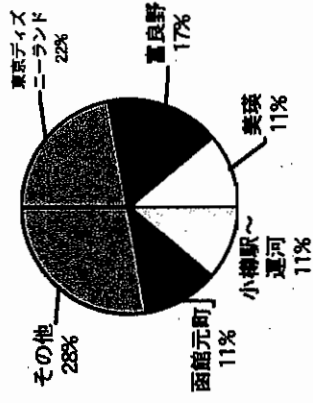


アンケート6. 市内に限らず、きれいな色使いがされていると感じた建築・街並・芸術等がありましたらお答え下さい。

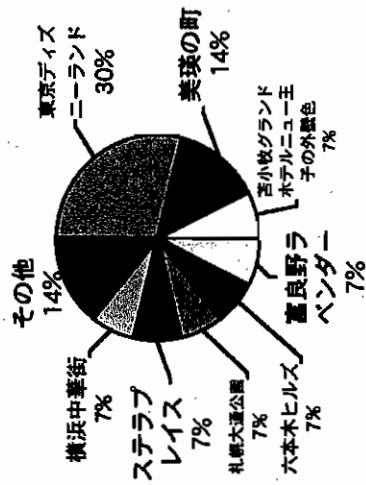
旭川市



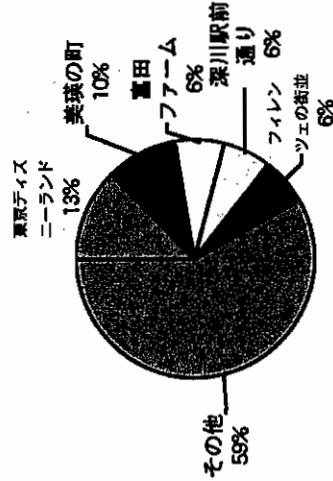
小樽市



苫小牧市



深川市



札幌市

